

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】令和4年7月28日(2022.7.28)

【公開番号】特開2022-107071(P2022-107071A)
 【公開日】令和4年7月21日(2022.7.21)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-132
 【出願番号】特願2019-95519(P2019-95519)
 【国際特許分類】

F 2 8 D 15/02(2006.01)

H 0 1 L 23/427(2006.01)

【F I】

F 2 8 D 15/02 M

H 0 1 L 23/46 A

F 2 8 D 15/02 1 0 1 G

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月23日(2022.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器内に冷却対象物の熱を吸収する冷却液を収容するとともに、該冷却液の熱を放熱する放熱器を有してなる冷却装置における、前記冷却液の熱を取り出すための熱交換構造であって、

前記放熱器により放熱される良熱伝導性材料よりなるベース部と、該ベース部から前記容器の内方に突出し、少なくとも一部が前記冷却液に浸漬される、良熱伝導性材料よりなる複数の板状フィンとを設けてなり、

30

前記板状フィンが、板面に開口する複数の貫通孔が形成されていることを特徴とする熱交換構造。

【請求項2】

前記板状フィンが、金属凝固法で成形された一方向に延びた複数の気孔を有するロータス型ポーラス金属成形体を、気孔の伸びる方向に交差する方向に切断加工してなる板材よりなり、

前記切断により分断された前記気孔が、前記板状フィンの前記貫通孔となる、請求項1記載の熱交換構造。

【請求項3】

40

請求項1又は2記載の熱交換構造を備える冷却装置。

50